

理事

研究助成金等候補者選考委員会委員長



日本神経化学会の理事として活動させていただくことになりました広島大分子細胞情報学の今泉和則です。岡野栄之理事長からは「研究助成金等候補者選考委員会」の委員長を拝命しております。本委員会は学会に寄せられた各種研究助成金や賞への公募依頼を会員の皆様に通知し、応募者を学会の立場で選考し、募集团体へと推薦する役割を担っています。詳細は委員長便りにてお知らせ致しますが、まずは与えられました任務をしっかりとうしたいと思っています。

本学会に入会して約30年が経過しました。この間、大会での発表やシンポジウム企画など

学術活動はもちろん、評議員・理事・理事長（2015-16）としても学会運営に深く携わって参りました。「神経を分子から解き明かす」学術的活動と、若手の育成、基礎と臨床の連携、国際化を重視する学会運営コンセプトに他学会に勝る良さを感じています。とりわけ、神経化学研究の次代を担う若手の育成には本学会の特徴が大いに活かされ若手研究者の成長ぶりには目を見張るものがあります。若手が輝ける組織で在り続けることが学会の永続的な繁栄につながりひいては神経化学研究の大いなる発展に結実するものと思います。その信念をもって理事として活動して参ります。

私は、製薬メーカーと4つの大学で研究活動を経験してきました。それぞれ研究環境や目指すゴールが大きく異なり、様々な立場で研究に取り組んでおられる数多くの先生方を拝見致しました。その中でノーベル賞を授賞された先生もいらっしゃいましたし、一方で環境に恵まれず大変苦しんでおられた先生もいらっしゃいました。学会は個別に研究生生活を支援できるものではありませんが、会員の皆様がそれぞれの立場で研究を楽しみ発展させていく場をいくらかでも提供できれば存在意義がございます。若手・シニア、民間・アカデミア、地方・中央など多様性を踏まえ、その上で会員お一人お一人が輝ける学会であり続けられるように、理事として全力で取り組んで参りたいと存じます。何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

広島大学大学院医系科学研究科 分子細胞情報学（生化学第一） 今泉和則